

板橋区生活状況に関する調査

ご協力のお願い

日頃より板橋区政へご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

板橋区では、区のひきこもり支援施策を検討するための基礎資料を得ることを目的として、区民の皆様の生活状況、とりわけ「ひきこもり」に関する状況や意識をお伺いする「板橋区生活状況に関する調査」を実施いたします。

本調査は、板橋区にお住まいの15歳から64歳までの方の中から、5,000名を無作為に選ばせていただき、ご回答をお願いするもので、このたび、あなた様に調査のご協力をお願いすることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ・本調査は、封筒の宛名のご本人様が無記名で回答いただくものです。（個人情報収集いたしません）
- ・回答内容は、回答者個人を特定せず、すべて統計的に取り扱い、他の目的に使用することはありません。
- ・本調査結果は、個人名や個人が特定される回答内容は一切公表しないかたちで報告書にとりまとめ、区ホームページ等にて公開する予定です。

本調査は、「調査票による回答」と「インターネットでの回答」のどちらか一方でご回答ください。

「インターネットでの回答」方法は、裏面をご参照ください。

調査票による回答

令和4年9月30日（金）までに、記入済みの調査票を、同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。（切手貼付不要）

※ 本調査の回収・集計等は、板橋区から株式会社CCNグループに委託しているため、返信用封筒の宛先は、同社宛てになっています。

※ 調査票送付時に使用した調査対象者様の個人情報は、調査終了後速やかに削除いたします。

【調査実施機関】 回答方法に関するお問い合わせ

株式会社CCNグループ 社会環境調査事業部
電話 03-6262-9713（平日9:00-17:00）

【調査主体】 板橋区福祉部生活支援課 ひきこもり対策担当
電話 03-3579-2387（平日9:00-17:00）

ホームページ <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kenko/fukushi/1040357.html>

※ 本調査の内容と、調査終了後に調査報告書をご覧いただけます。

記入要領

- 1 本調査は、封筒の宛名のご本人様がご回答ください。
- 2 ご記入は、鉛筆または黒・青のペン・ボールペンをご使用ください。
- 3 調査票・返信用封筒ともに、お名前・ご住所を記入する必要はありません。
- 4 回答は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
○をつける数は、(○はひとつだけ)・(○はいくつでも)等、設問ごとの指示に従ってください。
- 5 質問番号順にお答えください。設問の中には、一部の選択肢を選んだ方にだけ、お聞きする設問もあります。その場合は、矢印(→)や説明文の指示に沿ってお答えください。
- 6 ご自分の考えが選択肢の中にない場合は、「その他()」の選択肢番号を○で囲み、()の中へ具体的にご記入ください。
- 7 「答えるのが難しい」「答えたくない」と感じる設問があった場合、その回答は省略して進めるなど、ご無理のない範囲でお答えください。

インターネットでの回答方法

パソコン、スマートフォンから回答できます。

下記「URL」をインターネットアドレス欄に直接入力、または、「二次元コード」を読み取り、回答ページにアクセスし、下記の「ID」と「パスワード」を入力後、ご回答ください。

回答は中断、再開が可能です。再開時はID、パスワードを入力いただきますと、最後に回答したページから再開できます。

URL : <https://rsch.jp/855d0c72f6faedf6/login.php>

ID : XXXXXXXX

パスワード : XXXXX



選択肢の中から当てはまる選択肢の番号を選択し、「次へ」をクリックしてください。
すべての回答が終わりましたら「回答内容」を確認し、「送信」ボタンを選択してください。「回答完了」の画面が表示されましたら、回答は終了です。

回答期限 令和4年9月30日(金)23時59分までにご回答ください。

注意事項

- ・ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。
- ・通信サービスの接続料金は、回答者様の負担となります。
- ・回答を「送信」すると再回答はできません。回答送信前に内容のご確認をお願いします。

【Q1～Q10はすべての方がお答えください。】

Q1 あなたの性別をお答えください。(Oはひとつだけ)

- | | | |
|------|------|-------------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 わからない・どちらともいえない |
|------|------|-------------------|

Q2 あなたの年齢をお答えください。(Oはひとつだけ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 15～19歳 | 4 30～34歳 | 7 45～49歳 | 10 60～64歳 |
| 2 20～24歳 | 5 35～39歳 | 8 50～54歳 | |
| 3 25～29歳 | 6 40～44歳 | 9 55～59歳 | |

Q3 現在、あなたと同居している方にOをつけてください。(Oはいくつでも)

- | | | |
|---------|-------|------------------|
| 1 父 | 4 祖父母 | 7 その他の人 |
| 2 母 | 5 配偶者 | 8 同居家族はいない(単身世帯) |
| 3 きょうだい | 6 子 | |

Q4 現在、同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。

(数字で具体的に)

※Q3で「8 同居家族はいない(単身世帯)」を選択した方は、1人と記入してください。

--

人

Q5 あなたの家の生計を立てているのは、主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(Oはひとつだけ)

- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1 あなた自身 | 5 きょうだい | 9 生活保護などを受けている |
| 2 父 | 6 子 | 10 その他 |
| 3 母 | 7 他の家族や親戚 | 〔具体的に：〕 |
| 4 配偶者 | 8 年金などを受けている | |

Q6 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。

あなたの実感でお答えください。(Oはひとつだけ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 上の上 | 4 中の上 | 7 下の上 |
| 2 上の中 | 5 中の中 | 8 下の中 |
| 3 上の下 | 6 中の下 | 9 下の下 |

Q7 これまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。

通院・入院したことがある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 心臓や血管の病気	4 精神的な病気	7 骨折・大ケガ
2 肺の病気	5 目や耳の病気	8 その他の病気
3 胃や腸の病気	6 皮膚の病気	9 あてはまるものはない

Q8 あなたは現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

1 現在、在学している	2 すでに卒業している	3 中退した	4 休学中である
-------------	-------------	--------	----------

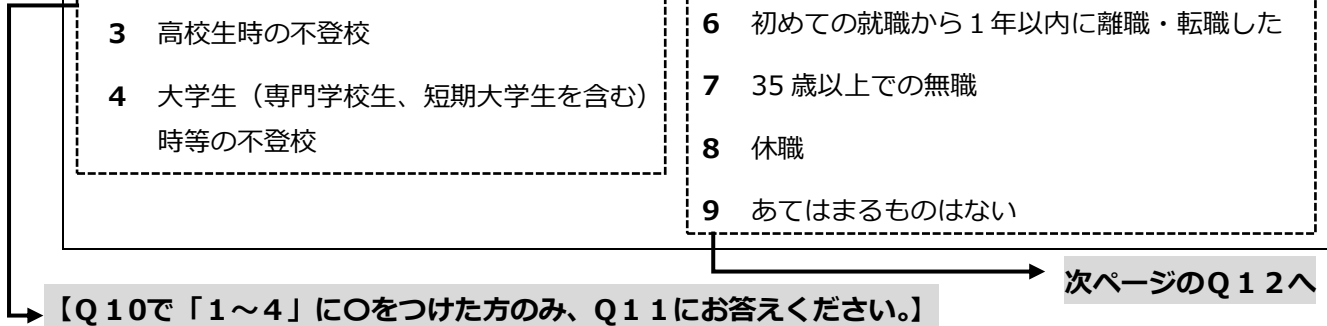
Q9 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在、在学している学校はどれですか。(○はひとつだけ)

1 中学校	3 専門学校	5 大学・大学院
2 高等学校	4 高等専門学校・短期大学	6 その他

Q10 これまでに、以下のようなことを経験したことがありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 小学生時の不登校	5 ニート(15歳から34歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態が、連続して1年以上あった)
2 中学生時の不登校	6 初めての就職から1年以内に離職・転職した
3 高校生時の不登校	7 35歳以上での無職
4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校	8 休職
	9 あてはまるものはない



Q11 不登校のきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1 学校(集団)生活になじめなかった	9 身体の不調
2 学習面	10 家族の介護
3 友人との関係	11 親子・家族関係
4 友達から言葉や態度等で傷つけられることがあった	12 その他 (具体的に:)
5 生活リズムの乱れ	13 わからない
6 学校の先生との関係	14 きっかけは特にない
7 部活動	
8 不安などの精神の不調	

【Q 12 はすべての方がお答えください。】

Q 12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。(Oはひとつだけ)

<p>1 勤めている (正社員)</p> <p>2 勤めている (契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト (学生のアルバイトは除く))</p> <p>3 自営業・自由業</p> <p>4 学生 (予備校生を含む)</p>	<p>5 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない</p> <p>6 専業主婦・主夫</p> <p>7 家事手伝い</p> <p>8 無職</p>
<p style="text-align: center;">Q 16へ</p>	<p>9 休職中</p> <p>10 休学中</p> <p>11 その他 具体的に：</p>

【Q 12で「5～8」にOをつけた方のみ、Q 13～Q 15にお答えください。】

Q 13 あなたは、いままでに働いていたことはありますか。(Oはいくつでも)

<p>1 正社員として働いたことがある</p> <p>2 契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある (学生時代の経験は含めません)</p> <p>3 自営業・自由業をしたことがある</p>	<p>4 その他の形態で働いたことがある 具体的に：</p> <p>5 いままで働いたことはない</p>
---	--

Q 14 現在、就職または進学を希望していますか。(Oはひとつだけ)

1 就職希望	2 進学希望	3 どちらも希望していない
--------	--------	---------------

Q 15 現在、就職活動または進学準備をしていますか。(Oはひとつだけ)

1 就職活動をしている	2 進学準備をしている	3 どちらもしていない
-------------	-------------	-------------

【Q 16～Q 18はすべての方がお答えください。】

Q 16 ふだんど自宅にいるときに、よくしていることすべてにOをつけてください。(Oはいくつでも)

1 テレビをみる	7 仕事をする	13 家の中でできる運動をしている
2 ラジオを聴く	8 家事をする	14 その他 具体的に：
3 本を読む	9 育児をする	15 特に何もしていない
4 新聞を読む	10 介護・看護をする	
5 ゲームをする	11 インターネットをする (情報収集・動画視聴など)	16 あてはまるものはない
6 勉強をする	12 携帯・スマートフォンを使う (メール・SNS・LINE など)	

Q 17 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 携帯電話・スマートフォンでの通話
(LINE等のアプリによる通話を含む) | 6 ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む)の閲覧・書き込み |
| 2 固定電話 | 7 ソーシャル・ネットワーキング・サービス
(Facebook、Twitter、Instagramなど)の
閲覧・書き込み |
| 3 携帯電話・スマートフォンでのメール | 8 オンラインゲーム |
| 4 パソコンでのメール | 9 ファックス |
| 5 チャット、LINEやMessenger等のアプリ
によるメッセージのやりとり | 10 あてはまるものはない |

Q 18 ふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 1 仕事や学校で平日は毎日外出する | 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する
用事のときだけ外出する |
| 2 仕事や学校で週に3～4日外出する | 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどに
は出かける |
| 3 遊び等で頻繁に外出する | 7 自室からは出るが、家からは出ない |
| 4 人づきあいのためにときどき外出する | 8 自室からほとんど出ない |
- 7ページのQ29へ

【Q 18で「5～8」に○をつけた方のみ、Q 19～Q28にお答えください。】

Q 19 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 6か月未満 | 5 3年～5年未満 | 9 15年～20年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 6 5年～7年未満 | 10 20年～25年未満 |
| 3 1年～2年未満 | 7 7年～10年未満 | 11 25年～30年未満 |
| 4 2年～3年未満 | 8 10年～15年未満 | 12 30年以上 |

Q 20 初めて現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

--	--

歳

Q 21 最近6か月間に家族以外の人と会話をしましたか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 よく会話をした | 3 ほとんど会話しなかった |
| 2 ときどき会話をした | 4 まったく会話しなかった |

Q22 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1 小学生時の不登校	9 病気 〔病名：〕
2 中学生時の不登校	10 妊娠したこと
3 高校生時の不登校	11 退職したこと
4 大学生（専門学校生、短期大学生を含む） 時等の不登校	12 介護・看護を担うことになったこと
5 受験に失敗したこと（高校・大学等）	13 その他 〔具体的に：〕
6 就職活動がうまくいかなかったこと	14 特にない
7 職場になじめなかったこと	15 わからない
8 人間関係がうまくいかなかったこと	

Q23 現在の状態について、相談機関に相談したいと思いますか。(〇はひとつだけ)

1 非常に思う	2 思う	3 少し思う	4 思わない
---------	------	--------	--------

Q24 現在の状態について、相談機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1 親身に聴いてくれる	9 自宅に専門家が来てくれる
2 医学的な助言をくれる	10 自宅から近く、交通費がかからない
3 心理学の専門家がいる	11 予約不要で相談できる
4 精神科医がいる	12 その他 〔具体的に〕
5 同じ悩みを持つ人と出会える	13 あてはまるものはない
6 匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる	14 どのような機関にも相談したくない （または相談できない）
7 無料で相談できる	
8 公的機関の人や医療の専門家ではない 民間団体（NPO など）である	

次ページのQ26へ

【Q24で「14」に〇をつけた方のみ、Q25にお答えください。】

Q25 相談したくない（または相談できない）と思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 自分のことを知られたくない	10 自分にあった相談機関がない
2 相談しても解決できないと思う	11 相談機関があることを知らない
3 何をきかれるか不安に思う	12 家族に相談することを知られたくない
4 相手にうまく話せないと思う	13 予約の電話をする勇気がない
5 相談したことを人に知られたくない	14 家族に相談すると言われた
6 相談はお金がかかると思う	15 その他 〔具体的に：〕
7 相談機関が近くにない	16 特にない、相談することがない
8 他人と関わりたくない	
9 自分の状況や気持ちを理解してもらえない のではないかと思う	

Q26 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

1 ある	2 なし
------	------

Q28へ

→【Q26で「1」に○をつけた方のみ、Q27にお答えください。】

Q27 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

<p>1 健康福祉センター</p> <p>2 いたばし生活仕事サポートセンター (自立相談支援機関)</p> <p>3 福祉事務所</p> <p>4 発達障がい者支援センター (あいポート)</p> <p>5 学校関係者 (担任・養護教諭・スクールカウンセラー等)</p> <p>6 心理相談 (教育支援センター)・板橋フレンドセンター</p> <p>7 子ども家庭総合支援センター (旧 子ども家庭支援センター)</p> <p>8 病院・診療所</p> <p>9 社会福祉協議会</p>	<p>10 職業安定所 (ハローワーク)・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関</p> <p>11 東京都ひきこもりサポートネット (ひきこもり地域支援センター)</p> <p>12 当事者の会・家族会</p> <p>13 民間のひきこもり支援機関</p> <p>14 民生委員</p> <p>15 インターネットを介した交流サイト・SNS ・LINEなどのチャット</p> <p>16 その他 〔 具体的に： 〕</p>
--	--

Q28 次に挙げたことのうち、現在、あなたが必要と感じるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

<p>1 ひきこもりに関する相談窓口</p> <p>2 家以外で安心・安全だと感じられる居場所</p> <p>3 生活全般に関する悩みを相談できる相手</p> <p>4 経済的な悩みを相談できる相手</p> <p>5 就労 (仕事探し) の悩みを相談できる相手</p> <p>6 就労に向けた準備活動、働く場所の紹介</p> <p>7 お金のかからない職業訓練の機会</p> <p>8 無料で参加できる趣味や体験活動の場</p> <p>9 無料で利用できる心の悩みの公的相談窓口</p> <p>10 在宅ワークを紹介するサービス</p> <p>11 生活困窮時の生活資金の公的支援</p>	<p>12 同じ悩みを持つ家族や本人が集まる当事者会の紹介</p> <p>13 学ぶ機会の確保</p> <p>14 人間関係の対応方法を学べる場</p> <p>15 自立に向けたトレーニングやきっかけが掴める場</p> <p>16 仲間づくりができる居場所</p> <p>17 家以外の生活の場</p> <p>18 その他 〔 具体的に： 〕</p> <p>19 特に必要と感じるものはない・今のままでよい</p>
--	---

8ページのQ34へ

【Q18(ふだんの外出状況)で「1～4」に○をつけた方のみ、Q29にお答えください。】

Q29 あなたは今までに6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。
(○はひとつだけ)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <p>1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する</p> <p>2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける</p> <p>3 自室からは出るが、家からは出ない</p> <p>4 自室からほとんど出ない</p> | <p>5 1～4のような状態に6か月以上連続してなかったことはない</p> |
|--|---------------------------------------|

次ページのQ34へ

【Q29で「1～4」に○をつけた方のみ、Q30～Q33にお答えください。】

Q30 その状態はどれくらい続きましたか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1 6か月～1年未満 | 5 5年～7年未満 | 9 20年～25年未満 |
| 2 1年～2年未満 | 6 7年～10年未満 | 10 25年～30年未満 |
| 3 2年～3年未満 | 7 10年～15年未満 | 11 30年以上 |
| 4 3年～5年未満 | 8 15年～20年未満 | |

Q31 初めてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

--	--

歳

Q32 その状態になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 小学生時の不登校 | 9 病気 |
| 2 中学生時の不登校 | 〔 病名 :
〕 |
| 3 高校生時の不登校 | |
| 4 大学生(専門学校生、短期大学生を含む)時等の不登校 | 11 退職したこと |
| 5 受験に失敗したこと(高校・大学等) | 12 介護・看護を担うことになったこと |
| 6 就職活動がうまくいかなかったこと | 13 その他 |
| 7 職場になじめなかったこと | 〔 具体的に :
〕 |
| 8 人間関係がうまくいかなかったこと | |
| | 15 わからない |

Q33 その状態から、Q18で回答した現在の状態（外出状況）になったきっかけや役立ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。（○はいくつでも）

1 体調の回復	10 家以外で安心・安全だと感じられる居場所
2 家族や友人等からの働きかけ	11 身体面又は精神面について専門機関への相談
3 家族や友人以外の人からの働きかけ	12 同じ悩みを持つ当事者や家族が集う居場所、つながり
4 相談窓口や支援の存在を知ったこと	13 ひきこもりの状態を経験したことがある方の体験談
5 生活資金の減少	14 学びの機会の提供
6 インターネット・SNS・LINE・チャットからの情報	15 就労に向けた準備、働く場所の紹介
7 転居、家族構成の変化など差し迫った事情	16 その他
8 友だちや仲間づくり	〔 具体的に： 〕
9 気軽に参加できる趣味や体験活動の場	

【Q34～Q39はすべての方がお答えください。】

Q34 あなたが感じている不安や危機感として、どのようなものがありますか。（○はいくつでも）

1 近い将来（5年以内）の収入・生活費など経済的なこと	10 学業や学校
2 比較的遠い将来（6～10年後）の収入・生活費など経済的なこと	11 困った時に相談したり、頼れる関係性の人がない
3 家族の高齢化、介護・看護	12 結婚や恋愛問題
4 家事や身の周りのこと	13 自分の生き方や生きがい
5 自分の健康	14 孤立や孤独死
6 家族の健康	15 自分に対して自信がない
7 家族との関係	16 その他
8 友人や仲間との人間関係	〔 具体的に： 〕
9 就職や仕事	
	17 特に感じている不安や危機感はない

**Q35 ひきこもりの社会的支援について、あなたの考えに近いものに○をしてください。
(○はそれぞれにひとつずつ)**

	はい	どちらか といえば、 はい	どちらか といえば、 いいえ	いいえ
1 「ひきこもり」の社会的支援には、相談しやすい窓口や身近な場が必要だと思う。	1	2	3	4
2 「ひきこもり」の人や家族が、孤立しないような地域社会とのつながりが必要である。	1	2	3	4
3 不登校から「ひきこもり」へつながらないために、子ども・若者への支援が必要である。	1	2	3	4
4 「ひきこもり」の社会的支援には、保健・医療面からの支援が必要である。	1	2	3	4
5 「ひきこもり」の社会的支援には、生活面（収入・日常生活）からの支援が必要である。	1	2	3	4

Q36 現在、板橋区では、身体の病気以外の理由で、ふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援のあり方について、ご意見があれば自由にお書きください。

Q37 「自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人」のことを「ゲートキーパー」と言いますが、「ゲートキーパー」という言葉を知っていましたか。(○はひとつだけ)

1 言葉も役割も知っていた	3 知らなかった
2 言葉は知っていたが、役割は知らなかった	

Q38 自殺予防のため、どのような対策が有効であると思いますか。(○はいくつでも)

1 自殺の実態を明らかにする調査・分析	9 職場におけるメンタルヘルス対策の推進
2 様々な分野におけるゲートキーパーの養成	10 子どもや若者の自殺予防
3 地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い	11 自死遺族等の支援
4 様々な悩みに対応した相談窓口の設置	12 適切な精神科医療体制の整備
5 危険な場所の規制等	13 その他
6 自殺未遂者の支援	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> 具体的に： </div>
7 自殺対策に関わる民間団体との連携	
8 自殺予防に関する広報・啓発	14 自殺予防のために有効な対策はない

Q39 現在、同居するご家族に「様々な要因により、社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を避け、原則として6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態」の方はいますか。
（〇はひとつだけ）

<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">1 いる</div>	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">2 いない</div>
---	--

【質問は以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。】

→【Q39で「1」に〇をつけた方のみ、Q39の状態に該当する同居のご家族（以下、「その方」という）について、Q40～Q49にお答えください。】

Q40 あなたから見たその方との続柄をお答えください。（〇はひとつだけ）

1 父	5 配偶者
2 母	6 子
3 きょうだい	7 孫
4 祖父母	8 その他の人

Q41 その方の性別をお答えください。（〇はひとつだけ）

1 男性	2 女性	3 わからない・どちらともいえない
------	------	-------------------

Q42 その方の年齢をお答えください。（〇はひとつだけ）

1 中学生以下	4 25～29歳	7 40～44歳	10 55～59歳
2 15歳（中学生含まない）～19歳	5 30～34歳	8 45～49歳	11 60～64歳
3 20～24歳	6 35～39歳	9 50～54歳	12 65歳以上

Q43 その方が現在の状態となつてどのくらい経ちますか。（〇はひとつだけ）

1 6か月～1年未満	5 5年～7年未満	9 20年～25年未満
2 1年～2年未満	6 7年～10年未満	10 25年～30年未満
3 2年～3年未満	7 10年～15年未満	11 30年以上
4 3年～5年未満	8 15年～20年未満	

Q44 その方がふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに〇をつけてください。
（〇はいくつでも）

1 テレビを見る	7 家事をする	12 家の中でできる運動をしている
2 ラジオを聴く	8 育児をする	13 その他
3 本を読む	9 介護・看護をする	（具体的に：
4 新聞を読む	10 インターネットをする （情報収集・動画視聴など）	）
5 ゲームをする	11 携帯・スマートフォンを使う （メール・SNS・LINE など）	14 特に何もしていない
6 勉強をする		15 あてはまるものはない

Q45 その方の「人との交流状況」であてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1 近隣住民と挨拶を交わすことはある | 4 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない |
| 2 趣味や遊びのために人と会うことはある | 5 家族ともほとんど会話がな |
| 3 会うことはないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している | 6 支援機関との交流はある |

Q46 その方の「外出状況」であてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1 一人で趣味や遊びのために外出することはある | 5 家族と一緒に外出することはある(一人では外出しない) |
| 2 一人で散歩に出かけることはある | 6 自室からは出るが、家からは出ない |
| 3 一人で買い物に出かけることはある(生活に必要なことのみ) | 7 自室からほとんど出ない |
| 4 特定の友人と外出することはある | 8 定期的に医療機関への通院やカウンセリングに出かけている |

Q47 その方が現在の状態に至ったきっかけとして思いあたるものをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1 学校に馴染めなかった・不登校 | 10 妊娠又は育児をすることになった |
| 2 学生時代に友達から言葉や態度等で傷つけられることがあった | 11 介護・看護を担うことになった |
| 3 受験に失敗した(高校・大学等) | 12 転居、家族構成の変化など差し迫った事情 |
| 4 就職活動がうまくいかなかった | 13 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による環境の変化 |
| 5 職場の仕事内容が合わなかった | 14 その他 |
| 6 友人との人間関係がうまくいかなかった | (具体的に：) |
| 7 職場の人間関係がうまくいかなかった |) |
| 8 長期に療養を要する病気や怪我をした | 15 特にな |
| 9 退職した(休職含む) | 16 わからない |

Q48 その方の現在の状態について、相談した（相談中も含む）ことはありますか。また、どこに相談しましたか。（〇はいくつでも）

※ その方以外のご家族が相談した場合も含みます。

1 健康福祉センター	10 職業安定所（ハローワーク）・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
2 いたばし生活仕事サポートセンター （自立相談支援機関）	11 東京都ひきこもりサポートネット （ひきこもり地域支援センター）
3 福祉事務所	12 当事者の会・家族会
4 発達障がい者支援センター（あいポート）	13 おとしより相談センター
5 学校関係者 （担任・養護教諭・スクールカウンセラー等）	14 民間のひきこもり支援機関
6 心理相談（教育支援センター）・板橋フレンドセンター	15 民生委員
7 子ども家庭総合支援センター （旧 子ども家庭支援センター）	16 インターネットを介した交流サイト、SNS・LINEなどのチャット
8 病院・診療所	17 その他 （具体的に： _____）
9 社会福祉協議会	18 相談していない・相談したことはない

Q49 次に挙げたことのうち、現在、その方に必要と思われるものすべてに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

1 ひきこもりに関する相談窓口	12 同じ悩みを持つ家族や本人が集まる当事者会の紹介
2 家以外で安心・安全だと感じられる居場所	13 学ぶ機会の確保
3 生活全般に関する悩みを相談できる相手	14 人間関係の対応方法を学べる場
4 経済的な悩みを相談できる相手	15 自立に向けたトレーニングやきっかけが掴める場
5 就労（仕事探し）の悩みを相談できる相手	16 仲間づくりができる居場所
6 就労に向けた準備活動、働く場所の紹介	17 家以外の生活の場
7 お金のかからない職業訓練の機会	18 その他 （具体的に： _____）
8 無料で参加できる趣味や体験活動の場	
9 無料で利用できる心の悩みの公的相談窓口	
10 在宅ワークを紹介するサービス	
11 生活困窮時の生活資金の公的支援	19 特に必要と感ずるものはない・今のままでよい

【質問は以上で終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。】